ZENRAKUREN

全酪連会報 7

2020 JUL No.658

酪農とのかけはし／
池野一昭さん
（株式会社 佐渡乳業）

第71年度（令和2年度）
事業計画 案

日本酪農見て歩紀／
渡邉牧場（三重県鈴鹿市）

酪農トピックス／
中部酪農青年女性会議主催
「農林水産省 東海農政局長への牛乳贈呈式」
の開催（名古屋）ほか

父の日に牛乳を贈ろう!キャンペーン&
牛乳無償贈呈

全酪連ギフト商品について

カーフトップ ラインナップ

www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/

全国酪農業協同組合連合会

酪農とのかけはし

第26回　株式会社 佐渡乳業

専務取締役 池野 一昭 氏

株式会社 佐渡乳業
住所：新潟県佐渡市中興122番地1
沿革：昭和30年2月に佐渡郡酪農農業協同組合連合会が設立され、翌31年には工場が完成し、牛乳処理販売事業を開始した。
昭和56年7月にJA佐渡が事業を継承し、翌57年9月に現在の所在地に新工場を建設した。
平成16年6月、JA佐渡と酪農生産者の出資により「株式会社 佐渡乳業」を設立した。
現在、正社員、臨時、パートまで含めて26名。

企業理念

トキの生育する佐渡島は、環境への配慮を第一に考え、景観や生き物を育む農業の多面的機能と価値を広げる取り組みが行われています。

佐渡島という小さな自給圏。古くから飲み慣れた郷土生まれの牛乳は、島民にとっては大切な存在です。全島10戸の酪農家が毎朝・夕に搾る新鮮なミルク。四季の乳質を大切にしたファームメイド製品に仕上げるのが私どものこだわりです。

▲（左）永井社長（佐渡農協経営管理委員会会長）と（右）池野専務

地域の資源を大切に〝お客様の気持ち〟に寄り添い、常に一歩先にある価値を求めて島の牛乳・乳製品を作り続けます。

▲ 池野専務

受賞歴

平成9年の第1回ALL JAPANナチュラルチーズコンテストからコンテストに出品してきました。

ALL JAPANナチュラルチーズコンテスト
フーデックスジャパン
ジャパンチーズアワード

の各コンテストで入賞をしてきており、平成31年（令和元年）第12回ALL JAPANナチュラルチーズコンテストにて、『カマンベール雪の花みそ漬』が白カビ部門（17品）で金賞を受賞しました。

そして翌年の令和2年、初めて国外のコンテストに出品し、2020 World Championship Cheese Contest（WCCC）で同チーズが銀賞を受賞しました。

チーズ作りに関わる契機

池野さんは昭和60年に佐渡農協に就職しましたが、当時は乳業と関係のない農協の仕事をしていました。昭和62年は生乳の生産調整の時期で、酪農振興のために、当時の組合長がチーズを作ってみないかとの助言したこともあり、その年にチーズ生産を始めることとなりました。池野さんの出身大学にある研究室が当時、たんぱぱの樹液でチーズを生産する研究を行っていたことが分かり、池野さんにチーズ作りの白羽の矢が当たったことが契機でした。

▲ 2020ワールドチャンピオンシップチーズコンテスト銀賞と農場チーズ

新型コロナウイルスの感染が広がる中で

量販店への出荷は問題ありませんが、業務用として島内外でお土産お菓子等に加工してきた生乳の需要が大きく減っています。また、フェリーの乗客も減っているのでそこで飲まれる牛乳パック製品の売上も大きく減ってしまっています。

課題と今後の取り組み

各乳業工場は6月からHACCP

認証を取得しなければいけません。1年間は猶予期間がありますが、来年6月には完全義務化と決まっています。これまでもHACCPに準ずる衛生管理は行ってきていますが、社会から求められることを実施していかなくてはなりません。

また、牛乳の消費が少しずつ減少してきています。今までは飲む牛乳でしたが、これからは食べる牛乳への転換。つまりチーズやバターやヨーグルトへの転換。牛乳は消費期限が1週間しかありませんが、乳製品加工により消費期限が伸びてくることが乳業メーカーとして重要となってきています。

◀ 乳業工場での小学生受け入れ、お礼の手紙

▼ ミルクポットのソフトクリーム

▲ トキパックは昨年の6月にリニューアル

▲ 佐渡乳業事務所とミルクポット

新製品の開発

平成25年より東経連ビジネスセンターのブランディング事業を受けながら、製品パッケージを統一し、今年の国際コンテストで受賞したチーズも東経連の事業で関わったメンバーと一緒に開発し、発売開始が出来ました。また、佐渡市の新製品開発支援事業を受けながら地元老舗お菓子屋さんと佐渡産原料にこだわったお菓子作りをしています。

佐渡乳業オンラインショップでは手作り乳製品を全国に発信しています。

〈sadonyugyo-shop.com〉WEBショッピングからお手軽にお買い物ができます！

酪農業界に望む事

酪農生産者、乳業メーカー、販売する側のみんなが共に〝おかげさま〟の気持ちでステップアップをしていきたいです。

生産者には良い乳を出してもらいたい。良質な生乳を生産してくれた〝おかげさま〟で良い製品作りができます。

消費者も良い製品を作ってもらっている〝おかげさま〟で美味しい物が食べられます。

消費者の感じた〝おかげさま〟の声を生産者に繋いで、また良質な生乳を生産してもらいたいです。

私が仕事を始めた時には、島内には60数戸の酪農生産者がいましたが、現在では10戸にまで減少しており、若い酪農生産者も少なくなってきています。日本から、佐渡から酪農を無くしてはならないので、酪農従事者を増やす取り組みが大事となっています。また、酪農生産者の6次産業化も支援していって欲しい、生乳を生産する側、加工する側、販売する側の一連の思いを繋いでいって、消費者へ安心安全を与えられるようにしていって欲しいと考えています。

JA佐渡の会長であり佐渡乳業の永井社長

佐渡には芸能や陶芸の道に通じている人間国宝がいます。池野専務にはチーズ作りの世界における人間国宝を授けたいです。佐渡の気候風土や歴史によって培われる良い物があり、チーズはその一つです。

また今後は、佐渡の有休地を利用した放牧酪農を実践し、佐渡の放牧地で過ごした乳牛から生産された生乳でチーズ等の乳製品も製造していきたいと考えています。

専務取締役 池野 一昭さんの 1日のスケジュール

7:30	出　勤 現場作業状況確認 （現場応援作業含む）
10:00	製品配達、事務処理
12:00	休　憩
13:00	現場作業状況確認 （現場応援作業含む）
17:00	資料作成、 事務処理
20:00	退　社

全国の酪農家に一言！

良質な生乳の生産から製造、販売、消費までを意識して欲しい。そしてその酪農生産の生きがいを感じてもらい、次世代の酪農従事者に繋いで欲しいです。

第71年度（令和2年度）事業計画（案）

本会は、第十一次中期事業計画（平成30～令和2年度）に基づき事業を展開しています。最終年度となる令和2年度事業計画は、6月16日開催の理事会で承認され、最終的には7月21日に予定している通常総会に諮ることになっています。

第71年度（令和2年度）事業計画（案）の重点実施施策について先の通り報告いたします。

Ⅰ 基本方針

令和2年度は「第十一次中期事業計画」の最終年度にあたる。「全酪連将来ビジョン」の主眼である酪農生産基盤の維持・拡大を目指して、酪農が直面する課題に対応しつつ、実効ある行動を着実に積み重ね、成果を出さなければならない。

このことを事業推進の基本に据えて、①酪農経営環境の安定化、②酪農生産現場の生産性の向上、③酪農生産物の販売強化、④組織運営の効率化と財務体質の強化、⑤コンプライアンス経営の推進、の事項ごとに施策を展開する。

Ⅱ 重点実施施策

1 酪農経営環境の安定化

(1) 搾乳後継牛の確保

①各種研修会を通じ、搾乳後継牛確保を目指した経営展開に関する資料（「儲けるためにホルをつけよう」等）を用い、計画的なホルスタイン授精、性選別精液の活用を啓蒙する。また、育成費用等の資金繰りなどに関して助言を行う。

②全国連としてのネットワークを活用し、平成30年度から継続となった酪農経営支援総合対策事業（地域の生産体制強化事業の広域的な乳用牛預託推進対策）に、全酪連販売預託推進協議会として引続き参加し、都府県の後継牛確保を図るとともに、北海道会員・預託農家への理解と協力を得て、北海道における販売預託事業の拡充を行う。

また、都府県（福島・熊本）に設置した若齢預託牧場を活用し、酪農家の労働力の低減と後継牛の自家調達を推進する。若齢預託牧場運営、飼養管理ノウハウを蓄積し、さらなる事業拡大に活用する。

(2) DMS（酪農家経営管理支援）システムによる経営支援

①経営継承や経営統合、法人化等に取り組む牧場に対し、その手法について助言・提案を行う。また、法務や税務に関する案件についても対応できるよう、酪農・畜産を専門とする税理士、司法書士、中小企業診断士等とのネットワークを構築する。

②これまで普及してきたSaaSシステム（ソフトウェアの通信ネットワーク経由の提供）の操作性を向上させることにより、入力作業の効率化を図り、DMSシステム利用者のより一層の増加に努める。

③DMSシステムで得られたデータや個別の経営診断内容を集計・分析し、検証結果を活用して課題解決のための情報発信を行う。

(3) 酪農家戸数維持の取り組み

①新規就農希望者の就農及び第三者継承希望者への円滑な経営移譲を支援するため、国、関係団体と連携して就農先、支援制度についての情報提供を行う。

②全国酪農青年女性会議が行う後継者及び新規就農希望者との交流、研修等の活動を積極的に支援し、後継者育成、新規就農に寄与する。

③新規就農希望者の研修の場としても重要なヘルパー事業推進のため、酪農ヘルパー全国協会と定期的に協議を行い、ヘルパー養成研修等をはじめとした事業の継続・拡大に向けた支援を行い、担い手確保に繋げる。

(4) 組織強化の取り組み

①会員組合の組織整備を支援するため、会員の要望に応じ本会職員や組織対策アドバイザーによる助言、情報提供等を行う。

②会員役職員、監事を対象とした研修会を開催し、酪農専門農協としての組織機能強化や会員農協組織の経営安定・強化に関する事項について情報提供を行う。

また、「会員概況調査」を実施し、集計・分析結果を会報・ホームページを通じて、広く情報提供する。

③専門農協連としての今後の在り方や共通の課題について、専門農協協議会会員団体、関係団体と意見交換、協議を行う。

(5) 政策の提言

酪農の生産基盤強化、経営安定につながる政策（各種補助事業、制度など）について、関係団体と定期的に協議し、提言を行う。

2 酪農生産現場の生産性向上

(1) 生乳の生産効率の向上

①酪農技術研究所の機能拡充を図り、生産効率向上を目指した試験を行うとともに、大学等の外部研究機関との共同研究を継続して実施し、製品開発力の向上を図る。また、世界的な自動哺乳機メーカー（フォスターテクニック社）との技術提携による、哺育・育成飼養管理技術の最新情報を発信する。

②酪農現場における飼料分析の活用促進・高度化のため、分析センターでは引続きアメリカの分析機関（Ｄａｉｒｙ Ｏｎｅ社）との業務提携による分析の迅速化及び最新飼料計算に対応した分析データの集積を継続・活用することで、酪農現場においてより科学的で正確な飼養管理指導を行える体制を構築する。また、分析項目の拡充にも努め、引続き外部からの分析依頼についても積極的に取り込む。

③「全酪連酪農セミナー」によって最新の生産技術情報を提供するとともに、その技術を生産現場で実現するための製品群を開発・供給することで、会員農協及び酪農家へ本会が推奨する飼養管理技術を普及する。

④更なる生産性の向上・効率化を図るため、スマート農業を見据えたＩＴ／ＩｏＴ関連技術の導入や取り組み方法等を検討する。

(2) 高品質な生産資材の安定供給

①会員農協と連携した指導購買の一層の拡充を図り、会員農協及び酪農家のニーズを的確に汲み上げ、ニーズに合った製品の供給を進めることによって直営製品供給数量の維持・拡大を図る。

②哺育飼料の油脂改良に関する情報収集を行い、哺育育成管理に貢献する製品の機能向上や品質の安定化に努める。

③粗飼料事業のスケールメリットの追求と安定供給の体制構築のため、本会子会社のゼン・トレーディングと一体となった事業の推進を強化する。また、会員農協及び酪農家との現地視察・買付けを実施し、ニーズにあった粗飼料を供給する。国内の需給動向を見据えた適切な在庫管理を徹底し、コスト削減に努める。

④飼料添加物などの生産資材について、会員農協及び酪農家のニーズに合った製品の供給を通じて生乳生産の向上を図ることにより、供給数量の拡大を図る。

また、自給飼料関連製品の更なる品質向上を検討する。

⑤新たな生産資材の開発のため、外部セミナー参加、業者からの情報収

集、現地視察などを積極的に実施する。

⑥世界各国の産地情報を的確にとらえながら飼料原料の安定確保に努める。全酪連グループ飼料工場との連携の下、各工場で設定したＧＭＰに基づき、安全・安心で高品質な製品の安定的な供給及び飼料工場の合理的な運営体制の構築に努めるとともに、保管コスト・数量・品質に関する適切な在庫管理を徹底する。また、直営製品及び受託製品の製造数量の増加による工場稼働率の向上により、工場コストの低減を図るとともに、会員等と連携しＴＭＲ施設の有効活用及び製品の安定供給に努める。

(3) 生産性向上に向けた人員体制の構築

会員・本会職員に対して、酪農現場での対応力向上に重点を置いた分野別教育プログラムを実施し、高度化・多様化する酪農技術に対応できる能力をもった職員の育成を図るとともに、職員相互での人材育成ができる資質を持った職員の育成を図る。

3 酪農生産物の販売強化

(1) 生乳販売体制の構築と需給調整機能の発揮

会員組織と一体になって生乳販売に取り組み、地域ごとの生乳需給の特性に合わせて当該地域の指定生乳生産者団体へ協力しその機能を補完するとともに、指定団体による生乳流通の合理化等に連携して取り組む。

また、直営乳製品工場及び会員農協系乳業や関連乳業の機能を活用し、需給調整を的確に実施する。

(2) 狭山工場の事業の円滑な譲渡

「事業譲渡に関する基本合意書」に従い、狭山工場の事業譲渡を円滑に行うとともに、チーズ事業全体の見直しを検討し効率的事業を図る。

(3) 乳製品の販売強化

①事業基盤強化のため、商流ごとの情報や課題を共有化し、コスト意識を持った対応策を検討、進捗管理をしながら実施する。

②特定乳製品及び液状乳製品については、直営工場の生産状況に応じて外部仕入（国産・輸入）を調整し、計画的な取引を実施する。また、関連乳業にて需給上発生する乳製品も取扱い、販売活動を進める。

③チーズ事業については、スモークチーズを中心にＮＢ商品の新規販売先を獲得し、売上高の向上を図る。また、狭山工場の譲渡後は、新商品開発を通じ製造委託商品および仕入品を強化し、販売数量及び売上高を確保するとともに、効率性の高い配送・保管体制を実現し、利益の確保に努める。

(4) 乳製品工場の品質管理強化と安定的な製造体制の維持

①製品の品質管理・衛生管理の水準を向上させるため、必要となる研修等を工場と協議して選定し体系的に整理したうえで、工場の該当者に受講させることで、リスクマネジメントを的確に行う人材の育成に資する。また、ＨＡＣＣＰの管理手法を運用することで、製造工程の管理精度が上がるよう、定期的な工程確認を実施し、職場全員の品質管理に対する意識向上に努める。

②生産設備の更新、要員の確保、原料の調達等の諸課題について解決に努めることを通じて、工場の製造体制の安定的な維持を図る。また、特に受託製造についてはその収益性を精査の上、稼働率向上を指向して積極的に取り組む。

(5) 生体牛の取扱いの強化

①酪農家で生産される初生子牛や肥育素牛については、会員農協と連携を強化し、より効率的な集畜体制を構築するとともに、肥育農家への安定供給を図る。また、肥育牛や経産肥育牛については、食肉関連会社への有利販売を図り事業拡大に努める。

②畜産事業に関する本会職員の人材育成を行うことにより、選畜技術や肥育技術等のスキルアップを図り、生体牛の取扱頭数の拡大につなげる。

4 組織運営の効率化と財務体質の強化

(1) 企画管理部総合企画室の機能発揮

①総合企画室は、全酪連グループ全体の事業のあり方を見据え、〝企

画”に重点を置いた業務を率先して行う。重要課題に対しては、各部門との連携を深め、解決に向けた協議や提案を部門横断的に行う。

②全国酪農協会をはじめ酪農関連団体との業務協力の内容を模索し、実行に移す。

(2) 内部統制機能の強化

「業務フローチャート」及び「業務リスク一覧表」の見直しサイクルを定着させる。また、このプロセスを利用し、職員への周知及び業務効率化に向けた取り組みを行う。

(3) 本会職員の確保・育成

①新卒採用の確保に向けたインターンシップ、大学の企業説明会への参加などによる働きかけ、中途採用の通年実施を通じて本会の職務を担う人材を確保する。

②令和元年度より導入された複線型人事制度を円滑に運用するとともに、新入職員研修・階層別研修をはじめとした体系的な教育研修の内容の見直しや、適正な人材配置を通じて能力を発揮できる人材を育成する。

(4) 財務基盤の強化

全酪連グループ内の資金及び保有資産の効率的活用を推し進める一方、必要な資金の手配においては安定的かつ適切な調達を図る。また、財務体質の強化に努め、今後の自己資本の充実を図る。

(5) 基幹システム安定稼働

基幹システムの安定稼働を図るため、メーカーのソフトウェア保守が終了する会計システムの更新作業を行う。また、通信環境の見直しを行い、インフラ環境を整備する。

5 コンプライアンス経営の推進

(1) コンプライアンス経営の推進

①コンプライアンス年間推進計画に則して、研修・勉強会等を通じて職員のコンプライアンスに関する意識の醸成を促すとともに、コンプライアンスに関するリスク・アセスメントを実施する。

②事業関連法規の制定・改正情報を収集し、遅滞なく関係部署に提供するとともに、適正な対応が行われるよう関係部署への助言等を行う。

(2) 品質保証システムの継続的改善

①国の定める法令の改訂に併せて品質関連規定の記述内容を検証・整備を行い、工場の品質監査の指摘事項に対する有効かつ継続性のある是正処置及び類似事項の再発防止策の指導、助言を行う。また、工場が自ら行う品質管理システムの運用状況について、引き続き監査項目に組み込んで監査を行う。

②乳製品工場においてはＨＡＣＣＰシステムに基づいた衛生管理の運用面について、配合飼料工場においては、引続きＧＭＰ適合認証取得や取得後の運用について、関係部署を支援する。

③クレーム管理システムの円滑な運用を支援する。

(3) 監査機能の強化

①内部統制の強化を促進するために自主検査及び内部監査の向上を目的に、引き続き監査室職員以外の職員の農業協同組合内部監査士資格取得を継続し推進するとともに、当資格取得者に全国農業協同組合中央会等が開催する内部監査関連研修会の受講を促し監査知識を深化させる。

②他部署と連携を図り会計監査人と適切な情報交換を行い、内部統制の強化が更に高まるよう監査機能の改善に努める。

日本酪農 見て歩紀 No.326

▲ 渡邉友裕さん

渡邉牧場
三重県鈴鹿市

地域にあった循環型酪農を目指して

地域の紹介

今回訪問した渡邉牧場がある鈴鹿市は、南北に長い地形の三重県のなかで愛知県に近い北勢地域に位置しています。鈴鹿山脈が南北に走り、そこから東にかけて傾斜面の丘陵地や台地が形成され、伊勢平野へと広がる恵まれた自然環境にありながら、名古屋市へは約50㎞、大阪へは約110㎞に位置し、国道1号・23号線および東名阪道・名阪道の幹線道路が縦横断するという交通の利便性にも恵まれた立地条件にあります。自動車レースで有名な鈴鹿サーキットがあることから国際的な観光都市でもあり、近年では日本のモータースポーツの聖地とも言われています。サーキットをもじって「さぁ、きっともっと鈴鹿。海あり、山あり、匠の技あり」というキャッチコピーを掲げて市の魅力を発信しています。

▲ 牛舎全景

また、市内にある椿大神社（つばきおおかみやしろ）は、三重県では伊勢神宮・二見興玉神社に次いで3番目に参拝者数の多い神社であり、猿田彦大神を祀る全国二千余社の本宮として、「地祇猿田彦大本宮」と尊称されています。人皇第十一代垂仁天皇の二十七年秋（西暦紀元前三年）、倭姫命の御神託により、この地に「道別大神の社」とし

て社殿が奉斎された日本最古の神社です。

今回は三重県鈴鹿市で酪農を営む渡邉友裕さん（40歳）にお話を伺いました。

牧場の概要

渡邉牧場は、昭和33年頃に友裕さんの祖父が飼養頭数2頭から酪農を開始し、その後、父親の弘さんが30頭まで増頭しました。そして平成13年に現在の経営者である友裕さんが就農し、平成15年には100頭飼養にまで規模拡大をしています。

友裕さんの家族構成は、ご本人と奥さんの綾さん、長男の永遠（とわ）さん、長女の清愛（せら）さん、次男の士童（しど）さん、父親の弘さん、母親の節子さんの7人です。現在、牧場運営は友裕さん、奥さんの綾さん、父親の弘さん、従業員1名、パート1名で行っています。

▲ 左から次男 士童さん、長男 永遠さん、長女 清愛さん

総飼養頭数は135頭（内訳は、哺乳牛15頭、未経産牛8頭、乾乳牛25頭、搾乳牛87頭）で、育成牛は北海道に外部預託（60頭）しています。以前までは友裕さんと父親の弘さん、パート1名の計3名で運営しており、ヘルパーを活用しながら回していましたが、2年前から従業員を1名雇用し、それを期にシフト制を導入しました。各自の休暇を設定するようにしたため、牧場の作業体系も少しずつ見直しをされているところでした。

現在のフリーストール牛舎は、本多製作所に設計依頼した3ロータイプで、3頭ずつのタンデム式パーラーになっています。牛舎構造については、旧繋ぎ牛舎を増築する形でフリーストール牛舎にした都合があり、3ローの構造がベストという事でした。フリーストール牛舎の飼槽にはスタンチョンを設けていないため、治療牛や種付け牛をキャッチペンに振り分けることを目的としてタンデム式パーラーを選択しており、搾乳時に牛体の観察を行っています。

また、牛群管理においては、牛歩を導入し、それと連動した繁殖管理システム「母子手帳」を繁殖管理に活用しながら状態を確認するという事を行っています。

▼ 乾乳牛舎

▲ 哺育舎

▲ 搾乳牛舎

搾乳牛 ▶

牧場の特徴

渡邉牧場の特徴としては、環境や地域との関係を配慮した循環型酪農に取り組んでいることが挙げられます。

自給飼料は、デントコーンを10町ほど作付しているほか、耕種農家と連携しながら稲ホールクロップサイレージ（稲WCS）を利用しています。また食品生産工場の食品残渣である粕類（豆腐粕、醤油粕）を有効活用し、これらを組み合わせた給餌体系を選択することで、地域循環型の酪農経営を意識しています。

糞尿処理については、戻し堆肥をつくっています。戻し堆肥は自給飼料や稲WCSへの圃場散布で9割程度を処理しており、残り1割を近隣の農家に提供しています。

▲ 手前：WCS 近隣の耕種農家から、奥：自給飼料のコーンサイレージ

友裕さんは、クラスター協議会の中心に立ち、耕種農家の方々に自給飼料のお手伝いをしてもらう代わりに、堆肥を耕種農家や自給飼料の畑

に還元することでWINWINの関係を築いていました。今後は戻し堆肥用の発酵装置や切り返しを行う機械設備等への投資を検討しており、牛、土、草づくりの3つをキーとしたエコファーム化を目指していました。

▲ 酪農教育ファーム認証牧場

友裕さんの考え方

「地域にあった」とのお言葉通り、渡邉牧場は酪農教育ファームの認証牧場として、消費者交流や地域交流にも力を入れておられました。友裕さん自ら小学校の出前授業を引き受けたり、乳業工場の視察に来られた消費者向けに酪農家として講演をしたり、酪農青年女性会議の役員を引き受けたりと忙しい毎日を送っておられます。考え方にあるのは地域密着という事で、周囲を巻き込みながら「渡邉牧場ここにあり」と思ってもらいたい気持ちが強いとのことでした。

大学とのタイアップなども極力受け入れるようにしているという事で、最新のデータや情報をなるべく様々な方面から入手するように心掛けていました。最近ではゲノム情報を活用した育種改良に取り組んでいます。

▲ 処理室

▲ タンデムパーラー

また、3年前より県下の若手酪農家とLINEグループを作り、研修会や懇親会などを企画して交流の場を提供しています。若手酪農家が中心となってこの酪農業界を盛り上げていきたい、地域全体の活性化に繋げていきたいと考えておられました。

そんな多忙な日々を過ごされている友裕さんですが、余暇はなるべく家族と過ごしていきたいという事で、家族で食事や買い物に行く時間に充てているとの事でした。

今後の目標

長男の永遠（とわ）さんが一昨年の春から北海道の酪農学園大学に進学されました。永遠さん自身が後継者として経営を引き継ぐという気持ちで進学されたとのことで、友裕さんとしては、今後の経営方針は永遠さんが就農するための土台作りを意識して考えていきたいと仰っていました。

友裕さん自身も学校を卒業してから就農し、父親の弘さんが築いてきた土台を基に規模拡大を行って今の形があるという事で、同じように卒業するまでは今の牧場経営の効率化を図りながら、地域との人間関係を作っていきたいと語ってくれました。

▲ 永遠さん 入学風景

永遠さんが卒業されるまでの3年間でしっかりとした経営状況を作っていくことで色々な選択肢が取れるようにしていきたいと考えているそうです。

終わりに

自給飼料の作業がお忙しい中で取材に応じて下さった友裕さんには大変お世話になり、本当にありがとうございました。

地域活性化や耕種農家との連携など、自分だけが良ければ良いという考え方ではなく、様々な分野と連携を行い、地域として酪農業として活性化していきたい。という友裕さんの考え方に強く感銘を受けました。

長男の永遠さんも後継者として早い段階で経営を継ぐことを決めており、将来も非常に楽しみな牧場です。渡邉牧場の更なる飛躍を祈念致しまして、今後とも本会としても支援、協力していきたいと思います。

名古屋支所発

中部酪農青年女性会議主催「農林水産省 東海農政局長への牛乳贈呈式」の開催

中部酪農青年女性会議（森富士樹委員長）は、6月19日㈮に東海農政局を訪れ、富田育稔東海農政局長に牛乳を贈呈し、牛乳の消費拡大のＰＲを行いました。

情報交換の場では東海地域における生産現場もコロナ禍による影響で今までとは違った状況を報告しました。

併せて本年度の当会議の活動計画、第49回全国酪農発表大会の延期など多岐にわたり情報交換を行いました。

富田育稔東海農政局長からは補助事業の一つであるスマート農業の活用など様々な情報及びご指導を頂きました。

中部酪農青年女性会議は今後とも良質で安全な牛乳の安定供給と牛乳の消費拡大に努めて参ります。（T.K）

▲ ミルメークで話題が盛り上がりました

▲ 東海農政局長との情報交換

▲ 牛乳贈呈式
左から渡邊代表監事、森委員長、富田東海農政局長、小笠原副委員長、西尾副委員長

名古屋支所発

三重県酪農女性会議主催「三重県庁 県知事への牛乳贈呈式」の開催

三重県酪農女性会議（高橋明美委員長）は、6月17日㈬に三重県庁を訪れ、鈴木英敬知事に牛乳を贈呈し、牛乳の消費拡大のPRを行いました。

通年であれば他県からの関係機関も同行して行事をお手伝いするのですが、今年はコロナ禍による影響で三重県内の酪農生産者及び関係機関のみで行いました。

大変な時期ですが、三重県酪農女性会議はコロナ禍に負けずに良質で安全な牛乳の安定供給と牛乳の消費拡大に努めて参ります。（T.K）

& 牛乳 無償贈呈

今年はコロナ禍で学校給食の停止があり、例年実施している父乳キャンペーンは大々的に行いたいところではありましたが、各地で催事の主催者や訪問先のご理解、ご協力をいただき、三密を避けての実施となりました。牛乳の無償贈呈も併せて、報告いたします。

岡山

●おかやま酪農業協同組合

開催日：6月2日㈫

岡田組合長、長恒専務、及び職員が伊原木岡山県知事を表敬訪問し、県産牛乳と乳製品を贈呈しました。

様々な行事やイベントで活用頂き、子供達から大人まで多くの県民の皆様に飲んで頂きたいとお願いしました。

愛媛

●愛媛県酪農後継者部会、JAえひめ女性組織協議会女性部会、愛媛県酪連

開催日：6月11日㈭

愛媛県酪農後継者部会上甲部会長・JAえひめ女性組織協議会女性部会岡田部会長・愛媛県酪連河野会長、中谷常務・四国乳業三好社長が愛媛県中村知事を訪問、牛乳・乳製品の贈呈を行いました。

日頃の酪農家の様子や、緊急事態宣言による消費減少時に多くの対策を講じて頂いた事に対する謝意、牛乳・乳製品のPRを行いました。

福岡

●福岡県酪農協、公益社団法人福岡県畜産協会、一般社団法人福岡県牛乳協会

開催日：3月19日㈭

福岡県議会を訪問し、牛乳の消費促進の要請活動を行いました。

佐賀

●佐賀県酪農婦人部連絡協議会

開催日：6月1日㈪

あかつき保育園（諸富町）へ牛乳・乳製品の贈呈を行いました。

茨城

●茨城県酪農青年女性会議

開催日：6月19日㈮

「食の支援」を目的とし茨城県内の一人暮らしの大学生・専門学校生を対象とした「食の支援」を展開している協同組合ネットいばらきへ、ミルメークを提供。新型コロナウイルスによる酪農業界への影響や農林水産省を中心に展開されている「プラスワンプロジェクト」等の酪農情勢を伝え、学生たちにミルメークを利用して牛乳をもう一杯多く飲んでいただき、酪農業界を応援していただけるよう伝えました。

宮崎

●宮崎中央地区

開催日：6月1日㈪

▲ JA宮崎中央 贈呈式

▲ 宮崎市役所 贈呈式

▲ 宮崎県知事 贈呈

●尾鈴地区

開催日：6月3日㈬

▲ JA尾鈴 贈呈式

▲ 川南町役場 贈呈式

●児湯地区

開催日：6月16日㈫

▼ 新富町役場 贈呈式

▲ 木城役場 贈呈式

▲ JA児湯 贈呈式

父の日に牛乳を贈ろう！キャンペーン

鹿児島

●鹿児島県酪農青壮年会議

開催日：6月5日㈮

県酪農青壮年女性会議の大渡委員長をはじめ、県酪農協の橋口組合長と3名の酪農家の皆さんが県庁を訪問しました。

橋口組合長から「県民の皆さまに牛乳や乳製品を1本でも多く飲んでいただきたい」と話し、また、池田副委員長から「畜産クラスター事業により、搾乳ロボットなどのAI技術を活用した効率的な飼養管理体制の確立を図っていくこととしています」と話し、積極的な取り組みに元気をもらいました。

「牛乳は元気の源。酪農家においてもICTを活用した省力化に取り組んでおられます。県としても引き続き支援していきますので、今後とも美味しい牛乳生産をお願いします」と激励しました。

沖縄

●沖縄県酪農青年女性部連絡協議会

開催日：6月19日㈮

沖縄県酪農青年女性部連絡協議会（八重瀬町、比嘉友明会長）は、県庁に富川盛武副知事を訪ね、県産牛乳消費拡大をPRしました。県内の個人平均消費量は2009年に年間24.8ℓでしたが、19年は18.7ℓ。10年間で6.1ℓ減少しています。

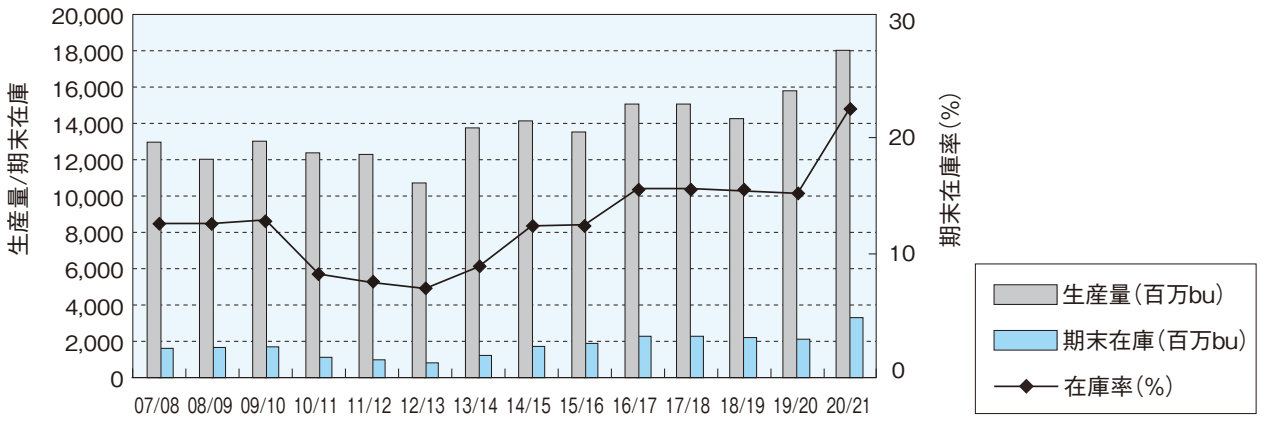
比嘉会長は「牛乳はタンパク質や脂質、カルシウムをたくさん含み栄養満点。頑張っているお父さんに、ぜひプレゼントして」と訴えました。

富川副知事は「私も毎朝牛乳を飲んで健康を保っている。県民の皆さんにもぜひ県産牛乳を飲み、夏バテを防いでほしい」と呼び掛けました。

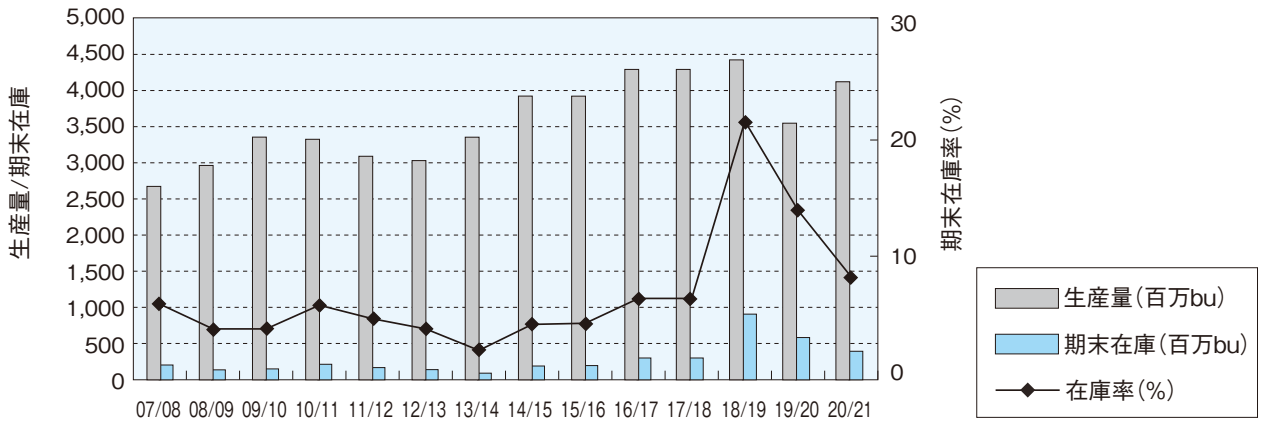
原料情勢　令和2年6月

		19/20年産	20/21年産
6月11日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	作付面積（百万エーカー）	89.7	97.0
	単　　収（ブッシェル/エーカー）	167.4	178.5
	生 産 量（ブッシェル）	158億8,300万	181億2,300万
	需 要 量（ブッシェル）	137億8,000万	148億万
	期末在庫（ブッシェル）	21億300万	33億2,300万
	在 庫 率	15.3%	22.5%
トウモロコシ 相場動向	トウモロコシ価格は320～340¢水準で落ち着いている。エタノール需要は例年レベルに回復傾向にあるが、20／21産クロップの作付、生産量、単収が高水準であることから上値は重い展開。今後は天候によって相場は大きく変わる時期になるため注意してみていきたい。		
大豆粕相場動向	シカゴ相場は引き続き軟調に推移しているものの、輸入の主となる中国産の発生が不安定で在庫量が減少しており大連相場は堅調に推移している。国産は食用油の外食需要大幅減少に伴う発生の減少により相場は強含みで推移している。今後も引き続き新型コロナの影響と、20／21年産大豆の作付け状況、米中関係に注意が必要となる。		
糟糠類	【一般フスマ】　引き続き業務用向けの需要が大きく減少しておりふすまの需給は逼迫している。10-12月に向け出荷制限含む在庫調整がなされており、例年以上の使用量増加は困難な状況にある。		
	【グルテンフィード】　飲料向け需要が激減しており、発生期であるにもかかわらず非常に逼迫している。自粛緩和により生産量はやや回復傾向にあるものの、スターチメーカによっては例年よりも前倒しで稼働を止めることが見込まれている。		
海上運賃	海上運賃は豪州炭やインドネシア炭の中国向け需要の牽引で運賃市況は強含み基調。中国向け原料炭輸出で首位のモンゴルが新型コロナ対策の影響で輸出を制限しているため、モンゴルに次ぐシェアを持つ豪州炭の需要が増加。また、一般炭需要も堅調で豪州炭の中国向け荷動きは活発化していることも堅調に推移する要因。		

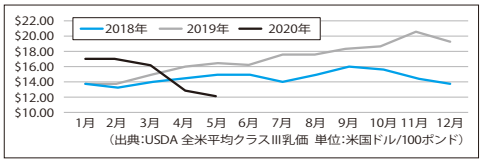
米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移



輸入粗飼料の情勢　令和２年６月

北米コンテナ船情勢	6月に各船社で予定されておりましたGRI（運賃一斉値上げ）は7月以降へと延期されています。また原油価格の下落に伴い、一部の船社ではLow Sulphur Fuel Compliance Charge（低硫黄燃料追加料金）などの各種サーチャージを減額していますが、この3ヶ月間で上がった運賃の値上げ幅はカバーできていません。中国から北米向けの輸出量は徐々に回復傾向にありますが、COVID-19発生前の水準には戻っていない状況です。船社によっては引き続き7-9月も中国-北米間のサービスの減便を発表しています。このため、運航を続けるサービスに予約が集中しています。特にシアトル・タコマ港からのサービスの船腹は引き続き逼迫しており予約の取得が難しい状況が続いています。
米国乳価状況	６月３日にUSDA（米国農務省）が発表した５月の全米平均クラスⅢ乳価は、国内及び世界的乳製品の需要減少を受け100ポンドあたり$12.14と前月比７％下落しています。しかし直近では米国内の減産政策やUSDAの乳製品の買い支えもあり乳価は上昇基調にあります。  （出典:USDA 全米平均クラスIII乳価 単位:米国ドル/100ポンド）
ビートパルプ	【米国産】　北中西部では20年産ビートの播種は概ね終了しています。ミネソタ州では順調に播種が進み降雨や凍結のダメージを回避できました。ミシガン州では播種を終え通常通り生育しておりますが、ダムが決壊し一部の地域で洪水被害を受けており、ビート圃場では当該地域の約10%で被害が出ています。ノースダコタ州では霜による被害がありましたが影響は限定的で、現在では冷涼な気候から一転し徐々に暖かくなっています。生育は若干遅れていましたが、適度な降雨と気候の回復に助けられ現在では例年並みまで持ち直しています。
アルファルファ	【ワシントン州】　主産地コロンビアベースンでは５月に入り１番刈の収穫作業を開始しましたが、この１ヶ月断続的に降雨があり収穫作業の進捗に影響が出ています。コロンビアベースンの南部では、断続的な降雨により、収穫されたアルファルファには僅かな雨当たりのものから酷い雨当たりのものまで様々な品質のものが発生しています。降雨を避けられたアルファルファも刈遅れとなっており南部でのプレミアム品の発生は限定的です。中部から北部でも５月中旬から順次収穫作業が開始しています。こちらも南部同様不安定な天候により、雨当たりの被害が報告されています。
	【オレゴン州】　オレゴン州南部クラマスフォールズでは１番刈の収穫が６月上旬から開始されています。産地は春先からの水不足で旱魃傾向にあり６月以降に農業用水の利用を制限される地域も発生する見込みです。オレゴン州中部クリスマスバレーでは多くの生産者で地下水を利用しているため、旱魃による水不足の問題は無くアルファルファを栽培しています。スケジュールの早い生産者では6月中旬頃から１番刈の収穫を開始する予定です。
	【ネバダ州・ユタ州】　ネバダ州西部のイエリントン周辺では現在1番刈の収穫が開始されています。一部の圃場ではベーリング作業も進んでいますが、同地域でもワシントン州と同様に断続的な降雨に見舞われており収穫作業に遅れがでています。ユタ州では5月下旬から1番刈の収穫作業が開始されており順調に進捗しています。6月上旬に降雨の予報が出ているため注視が必要です。
	【カリフォルニア州】　カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、3番刈の終盤を迎えており、一部の生産者では4番刈を開始しています。産地ではすでに気温が40℃前後まで上昇しているため、成分が下がっておりプレミアム品の発生は少なくなっています。
チモシー	【米国産】　主産地であるコロンビアベースンでは比較的冷涼な気候が続いておりチモシーの生育は良好です。当初５月末から収穫の開始が予定されていましたが、天候の安定を待って、６月上旬から開始しています。エレンズバーグでは６月中旬から下旬にかけて収穫作業が開始する予定です。他方で今年１月に米国と中国との間で包括的な貿易協定の第１段階（フェーズ1）が署名されており、この中には米国産チモシーの中国への輸出解禁についても記載されています。1月以降、両国で協議が進められ５月に正式にチモシーの輸出について協定書が結ばれました。今後米国の各輸出業者は中国当局への申請とUSDA（米国農務省）からの承認を経て正式にチモシーの輸出を開始する予定となっています。
	【カナダ産】　20年産の作付面積につきましては、19年産とほぼ同水準になると予想されています。アルバータ州中部のクレモナでは、生産効率向上と人件費削減のため、これまで活用していたスモールベールのベーリングマシンからビッグベールマシンへ移行する生産農家が増えています。
スーダングラス	主産地であるインペリアルバレーでは一部の生産者で20年産早播きスーダンの収穫が開始されています。春季の播種作業の遅れから早播きスーダンの収穫本格化は例年より約2-3週間遅い6月中旬から下旬になることが見込まれています。この収穫の遅れにより上級品の発生減少やブラウンリーフの混入したスーダンの発生が例年よりも多くなる可能性が懸念されています。
クレイングラス	**クレインは全酪連の登録商標です。** 多くの生産者で１番刈の収穫を終えており、現在２番刈の収穫が行われています。例年１番刈は良品が多く発生する傾向にありますが、20年産は雑草の混入や収穫期の降雨により収穫を中断した圃場もあったため刈遅れ品が発生しており、良品の発生が少なくなっています。２番刈は乾燥した気候のもと順調に収穫が進んでおり多くの良品の発生が期待されています。スケジュールの早い生産者は２週間後に３番刈を開始する予定です。 ▲ ２番刈クレイングラス圃場 5月下旬撮影
ストロー類	日本からのストロー需要は引き続き堅調です。現地の19年産は完売となっております。20年産については順調に生育していますが、作付面積減少に伴い生産量の減少が予想されているため産地相場も堅調に推移しています。
オーツヘイ／ウィートストロー	【豪州産】　播種は順調に進み多くの地域でオーツヘイの作付けを終えています。東豪州を中心に播種前の良いタイミングで降雨があったため、適度な土壌水分を含み作付することができました。西豪州では当初降雨の不足が心配されていましたが、5月下旬に降雨があったため状況は好転しています。全豪的に理想的なタイミングで作付けが出来ており、且つ雨にも恵まれたため収穫期に向け順調な生育が期待されています。20年産の生産が順調にスタートしていることから、国内需要は年始に比べると落ち着いています。
豪州コンテナ船情勢	COVID-19の影響及び政治的背景もあり、引き続き中国-豪州間の本船が減便されています。このことから豪州各港で空コンテナが不足しています。特に南豪の空コンテナ不足は顕著で、産地の輸出業者は出荷に合わせ他の港から空コンテナを横持ちして対応しています。現在のところ空コンテナ不足による大幅な遅延は発生しておりませんが、徐々に確保が難しくなっていることから、今後の状況に注視が必要です。

デザート

奥中山アイス S セット

税込 **4,439 円**（本体 4,110 円）

●4種（バニラ、ブドウ、洋なし、イチゴ）各130ml×各2個
〈アレルゲン物質〉乳 / 卵
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷凍　短

岩手県の奥中山高原で育ったカナディアンジャージー種の生乳を贅沢に使った、コクのあるスーパープレミアムな味わいのアイスクリームです。着色料等を使用せず、自然のおいしさにこだわりました。S セットと I セットの 2 種類のセットをご用意しております。

［製造者］**奥中山高原農協乳業株式会社（岩手県二戸郡）**

奥中山アイス I セット

税込 **5,735 円**（本体 5,310 円）

●6種（バニラ、ブドウ、洋なし、イチゴ、コーヒー、抹茶）各130ml×各2個
〈アレルゲン物質〉乳 / 卵
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷凍　短

長崎カステラセット 2本入り

税込 **3,024 円**（本体 2,800 円）

●牛乳風味 370g × 1 本
●チーズ風味 370g × 1 本
※ 10 等分カットタイプ
〈アレルゲン物質〉小麦 / 乳 / 卵
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

長崎カステラセット 3本入り

税込 **4,104 円**（本体 3,800 円）

●牛乳風味370g×1本
●チーズ風味370g×1本
●蜂蜜風味370g×1本
※10等分カットタイプ
〈アレルゲン物質〉小麦 / 乳 / 卵
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

全　普　名入れ可

牛乳、チーズをふんだんに使用したカステラはふっくらで、しっとりとしたキメ細やかな生地が特徴です。地域ブランド「長崎カステラ」の認定工場で製造しております。

［製造者］**有限会社杉谷本舗（長崎県諫早市）**

酪王アイスギフト 12 個セット

税込 **4,860 円**（本体 4,500 円）

●３種（酪王カフェオレ、酪王いちごオレ、酪王牛乳）各 120ml ×各４個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷凍　短

酪王カフェオレアイスクリーム、酪王いちごオレアイスクリーム、酪王牛乳アイスクリームが４個ずつ入ったアイスギフトセットになります。

［製造者］**酪王乳業株式会社（福島県郡山市）**

飛騨アイス・ロールケーキセット

税込 **5,200 円**（本体 4,814 円）

●３種（バニラ、ストロベリー、チョコレート）各120 ml ×各2 個
●飛騨ミルクロールケーキ 340 g × 1 本
〈アレルゲン物質〉乳 / 卵 / 小麦 / 大豆 / ゼラチン
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷凍　簡易　短　名入れ可

飛騨産の生乳・生クリーム・岐阜県産の特産品や選び抜いた素材を使用した贅沢なアイスクリームと濃厚な味わいのロールケーキの冷凍詰め合わせです。

［製造者］**飛騨酪農農業協同組合（岐阜県高山市）**

八ヶ岳野辺山高原 レアチーズケーキギフト 12 個入り

税込 **3,600 円**（本体 3,333 円）

●プレーン 68 g × 12 個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

全　短　名入れ可

コクのあるまろやかな味のレアチーズケーキに仕上げました。風味豊かな高原のさわやかなデザートをお楽しみください。

［販売者］**株式会社ヤツレン（長野県南佐久郡）**

地卵はちみつぷりん 9 個入

税込 **3,456 円**（本体 3,200 円）

●地卵はちみつぷりん 90 g × 9 個
●カラメルソース7 g × 9 袋
〈アレルゲン物質〉卵 / 乳
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

簡易　短　名入れ可

久住山麓で平飼いで育てられた赤鶏の地卵とはちみつを使った濃厚でなめらかなプリンです。

［製造者］**株式会社菊家（大分県由布市）**

2種クリームわらびもち詰合せ

税込 **3,543 円**（本体 3,280 円）

●クリームわらびもち６個 318 g
●コーヒークリームわらびもち６個 318 g
〈アレルゲン物質〉乳 / 大豆
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷凍　短　名入れ可

もっちり食感とつるりとしたのどごしのわらびもちです。ミルク風味豊かなホイップクリームとコーヒー風味のホイップクリームが塩こしあんと相性抜群です。

［製造者］**大山乳業農業協同組合（鳥取県東伯郡）**

生どら 12 個詰め合わせ

税込 **3,000 円**（本体 2,777 円）

●生どら４種（小倉・抹茶・みかん・いちご）各 65 g ×各３個
〈アレルゲン物質〉卵 / 小麦 / 乳
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷凍　全　普　名入れ可

しっとりやわらかな生地でホイップクリームをたっぷり包んだ洋風どら焼きです。４種のフレーバーがクリームと混ざりあい、ひんやりとやさしい口どけが楽しめます。

［製造者］**有限会社杉谷本舗（長崎県諫早市）**

ZENRAKU Summer Gift 2020

畜産品

東毛酪農カマンベールチーズ3個セット

税込 **3,111 円**（本体 2,880 円）

●カマンベールチーズ 100g × 3 個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷蔵　簡易　短

おいしいチーズを造るために厳選した農家の生乳を使い、伝統的な手造りの製法で造られたカマンベールチーズ（ナチュラルチーズ）を熟成した食べ頃の状態で密封パックしました。パッケージを開けた時が『食べ頃』で、やさしい味わいが楽しめます。

［製造者］東毛酪農業協同組合（群馬県太田市）

全酪セット

全酪乳製品セット A

税込 **3,780 円**（本体 3,500 円）

●HFぬるチーズ 150g × 1
●全酪酪農家バター（加塩）200 g×1個
● HF スライスチーズ 126g × 1 個
● HF6P チーズ 108g × 1 個
● HF スモークチーズ 120 g × 1 個
● HF とろけるスライスチーズ 126g × 1 個
（らくのうこどもギャラリー特選作品限定化粧箱入り）
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷蔵　簡易　短　名入れ可

全酪乳製品セット B

税込 **5,400 円**（本体 5,000 円）

●HFスライスチーズ126g×1個
●HFぬるチーズ150g×1個
●HF6Pチーズ108g×2個
●HFとろけるスライスチーズ126g×1個
（らくのうこどもギャラリー特選作品限定化粧箱入り）
●HFスモークチーズ120g×1個
●全酪パウダーチーズ70g×2個
●全酪酪農家バター(加塩)200g× 1 個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷蔵　簡易　短　名入れ可

らくのうマザーズ阿蘇ミルク牧場セット

税込 **5,184 円**（本体 4,800 円）

●あそ野プレーン（熟成チーズ）100 g
●あそ野スモーク 100 g
●あそ野黒胡椒 100 g
●おつまみベーコン 60 g
●馬蹄フランク 130 g
※ギフトボックス（紙製）でお届けします
〈アレルゲン物質〉乳 / 豚肉 / 牛肉
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷蔵　短　名入れ可

阿蘇ミルク牧場で飼育している乳牛（ホルスタイン、ジャージー、ガンジー、ブラウンスイス、エアシャー）の乳をブレンドする事によりコクがあり口当たりのよい牧場自慢の乳製品とこだわりのミートをセットしました。

［製造者］らくのうマザーズ阿蘇ミルク牧場（熊本県阿蘇郡）

全酪牛 焼肉セット

税込 **4,536 円**（本体 4,200 円）

●産直牛（国産牛）肩ロース 250 g
●産直牛（国産牛）内もも 250 g
〈アレルゲン物質〉牛肉
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷凍　短

生産者限定で作り上げた国産牛のおいしさを味わえるセットです。肩ロース・モモを焼肉に最適な厚さにスライスしてたっぷり詰め込みました。

［販売者］コープかごしま（鹿児島県鹿児島市）

全酪めんセット（博多ラーメンとんこつ味･冷し中華）

税込 **3,980 円**（本体 3,685 円）

●博多ラーメンとんこつ味 8 食
●冷し中華 8 食
〈アレルゲン物質〉小麦 / 魚介類 / ごま / 大豆 / 鶏肉 / 豚肉 / りんご
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

全　短　名入れ可

めんは小麦胚芽入りの多加水熟成麺です。スープは本格的なとんこつ味とレモン果汁を配合したさわやかな冷し中華がそれぞれ8食ずつ入ったセットです。

［製造者］江崎製麺有限会社（福岡県筑後市）

麺

手延素麺島原「一刻物の極」

税込 **3,240 円**（本体 3,000 円）

●細造り素麺1束 50 g（乾麺）× 24 束
〈アレルゲン物質〉小麦
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

全　普　名入れ可

伝統の手延技術の集大成、「細造り素麺」。この細さにしてこのコシの強さにきっとご満足いただけることでしょう。小麦の風味・旨味が豊かに広がる造りたての味が他に類をみない美味しさです。

［製造者］株式会社素兵衛屋（長崎県南島原市）

畜　肉

おこっぺハムギフト（OC-40）

税込 **3,909 円**（本体 3,619 円）

●北海道フランク 220g × 1 個
●北海道認証ベーコン 80g × 1 個
●あらびきウインナー 110g × 1 個
●ハーブウィンナー 135g × 1 個
●行者にんにくウィンナー 120g × 1 個
●あらびきフランク 200g × 1 個
〈アレルゲン物質〉豚肉 / 乳
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷蔵　簡易　短　名入れ可

おこっぺハムギフト（OC-50）

税込 **5,184 円**（本体 4,800 円）

●ペッパーポーク 320g ×1個
●北海道認証ベーコン 300g × 1 個
●あらびきウインナー 110g ×1個
●ガーリックウインナー 110g × 1 個
●バジリコフランク 240g × 1 個
●あらびきフランク 200g × 1 個
〈アレルゲン物質〉豚肉
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷蔵　簡易　短　名入れ可

主原料の豚肉はすべて北海道産 100%。じっくりと熟成させる本来の製法で製造しております。

［製造者］株式会社オホーツククリーンミート（北海道紋別郡）

十勝若牛ギフトセット

税込 **6,480 円**（本体 6,000 円）

●十勝若牛ロースステーキ 180 g× 3 枚
●十勝若牛ハンバーグ 100 g×4個
〈アレルゲン物質〉牛肉 / 小麦 / 卵 / 乳 / 大豆
お取扱期間　6/15 ～ 8/31

冷凍　全　普　名入れ可

独自の早期肥育技術で生産される旨味豊かな赤身肉。脂肪の少ないきめ細やかな肉質が特徴で、ヘルシーながらジューシーな味わい。牛肉独特のクセを抑えつつも、お肉本来の旨味に満ちた柔らかな食感をお楽しみいただけます。

［製造者］株式会社十勝清水フードサービス（北海道上川郡）

SP-310

税込 **3,240 円**（本体 3,000 円）

●ももハム 310 g×1個
●ベーコン 280 g×1個
〈アレルゲン物質〉豚肉
お取扱期間　6/28 ～ 8/10　受注締切 7/24 まで

冷蔵　簡易　短　名入れ可

DLG-38G

税込 **3,780 円**（本体 3,500 円）

●熟成乾塩ベーコン 80 g×1個
●チーズリヨナー 90 g×1個
●トマトオリーブ入りソーセージ 100 g× 1 個
●カントリーロースト 72 g× 1 個
●フライシュケーゼ 80 g× 1 個
〈アレルゲン物質〉乳 / 大豆 / 豚肉
お取扱期間　6/28 ～ 8/10　受注締切 7/24 まで

冷蔵　簡易　短　名入れ可

SP-510

税込 **5,400 円**（本体 5,000 円）

●熟成糸巻ロースハム 320 g× 1 個
●焼豚 310 g× 1 個
●ベーコン 280 g× 1 個
〈アレルゲン物質〉豚肉 / 小麦 / 大豆
お取扱期間　6/28 ～ 8/10　受注締切 7/24 まで

冷蔵　簡易　短　名入れ可

昭和 34 年にドイツ人マイスターを招聘して本格的なハムづくりを始めてから 60 余年。時間と手間を惜しまず確かな目と技術でつくられる製品には、私たちの自信と誇りが込められています。

［製造者］大山ハムファクトリー株式会社（鳥取県米子市）

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し（お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による）扱いはいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 詰合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. 冷凍　冷蔵　マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. 簡易　全　マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。また、表示のない商品には包装はありません。
（簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。）
9. 普　短　マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。
10. 名入れ可　マークのついている商品は熨斗の表書きにご指定の文字が入れられます。
商品によりスペースが異なり、全ての文字を入れられないこともございます。ご了承ください。

全国酪農業協同組合連合会

●本所　酪農部	〒 151-0053	東京都渋谷区代々木 1-37-2 酪農会館	TEL 03-5931-8008	FAX 03-5931-8025
●札 幌 支 所	〒 060-0003	札幌市中央区北 3 条西 7-1 酪農センター	TEL 011-241-0765	FAX 011-241-0769
●仙 台 支 所	〒 980-0021	仙台市青葉区中央 1-7-20 東邦ビル 3F	TEL 022-221-5381	FAX 022-221-5384
●名古屋支所	〒 460-0008	名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル 3F	TEL 052-209-5611	FAX 052-209-5614
●大 阪 支 所	〒 532-0011	大阪市淀川区西中島 5-14-10 新大阪トヨタビル 6F	TEL 06-6305-4196	FAX 06-6305-4899
●福 岡 支 所	〒 812-0016	福岡市博多区博多駅南 1-2-15 事務機ビル 7F	TEL 092-432-2121	FAX 092-431-6313

INFORMATION

北海道 乳牛産地情報

令和２年７月１日現在

札幌支所	TEL 011-241-0765
釧路事務所	TEL 0154-52-1232
根室駐在員事務所	TEL 01537-6-1877
帯広事務所	TEL 0155-37-6051
道北事務所	TEL 01654-2-2368

価格状況 ↑……強含み ↗……やや強含み →……横這い ↘……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	38～45	→	札幌管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で104.2%、累計で104.3%、苫小牧管内月計で101.4%、累計で101.8%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月分娩が中心となります。6月管内乳牛市場が夏分娩の影響もあり、平均相場が下がったことから、庭先購買価格もやや弱含みに推移するものと思われます。腹別では、F1腹・雌雄選別腹どちらも同等の価格で推移するものと思われます。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、オーダーがありましたらお早めにご連絡いただきますようお願いいたします。
	初妊牛	65～75	↘	
	経産牛	40～50	↓	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	40～47	→	根釧管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.4%、累計で101.7%、中標津管内月計で101.9%、累計で103.3%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月分娩が中心となります。6月の管内乳牛市場が弱含みで推移したことから、庭先購買価格は弱含みとなることが予想されます。庭先購買における腹別の価格動向につきましては、先月までは軟調な動きをみせていた和牛受精卵移植腹がやや堅調な動きとなってきました。F1腹・雌雄選別腹も同等の価格で推移するものと思われます。育成牛・経産牛につきましては、横這いで推移するものと思われます。
	初妊牛	68～76	↓	
	経産牛	40～50	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	40～47	→	帯広管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で101.5%、累計で102.6%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月～10月分娩が中心となります。6月管内乳牛市場の初妊牛平均相場が前回より下がったことから、庭先購買価格はやや弱含みで推移するものと思われます。また、経産牛も同様に弱含みで推移するものと思われます。管内の乳牛市場が6月から8月まで毎月1回の開催となり、市場の出品頭数が多くなることから、秋分娩までは相場が軟調に推移するものと予想されます。初妊牛の資源につきましては、F1腹・雌雄選別腹のどちらも例年どおりの頭数は確保できる状況となっておりますので、オーダーがありましたらお早めにご連絡いただきますようお願いいたします。
	初妊牛	68～78	↘	
	経産牛	40～50	↓	
道北管内	育成牛(10-12月令)	38～46	↘	道北管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で101.4%、累計で101.5%、北見管内では月計で102.5%、累計で103.0%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月分娩が中心となります。直近に開催された乳牛市場では価格がやや落ち着いてきたこともあり、庭先購買価格もやや弱含みになると思われます。初妊牛の資源につきましては、前年並みと思われますが、一部の地域によっては、前年に比べてF1腹の割合がやや増えるとの情報もあります。育成牛と経産牛の価格につきましては、初妊牛と同様にやや弱含みで推移すると思われます。情勢によっては急な相場変化もあり得るため、購買をご計画の際はお早めにご連絡いただきますようお願いいたします。
	初妊牛	68～76	↘	
	経産牛	40～50	↘	
道内総括	育成牛(10-12月令)	38～47	↘	道内の6月中旬までの生乳生産量前年比は101.6%、累計で102.6%の実績となっております。道内では、各地域1番牧草の収穫がスタートしております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月～10月分娩中心となります。各管内の初妊牛相場は、夏分娩腹のリスクを意識した相場となり軟調に推移しております。秋分娩腹の購買が中心となりましても、今年は資源状況が豊富なことから、育成牛・経産牛も含め、相場が軟調に推移すると予想されます。また、腹別での価格差も無くなっております。今後も相場動向に注視しながら庭先選畜購買を中心に安定した搾乳用素牛を供給してまいりますので、導入の計画がございましたら、お早目に弊会担当者までご連絡いただきますよう宜しくお願いいたします。
	初妊牛	68～78	↘	
	経産牛	40～50	↘	

お詫びと訂正

本紙６月号（No.657）に掲載しました「栄えある春の叙勲・褒章」の役職の表記に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正いたします。

＜誤＞ 岩竹 重城氏 **元** 一般社団法人全国酪農協会 監事 → ＜正＞ 岩竹 重城氏 **現** 一般社団法人全国酪農協会 監事

今月の表紙

今月の表紙は「第10回酪農いきいきフォトコンテスト」（第48回全国大会にて開催）で応募頂いた作品『宿題のご褒美にショウデビュー!!』（熊本県 山下香奈氏 撮影）です。

令和２年7月10日発行（毎月1回10日発行）
全酪連会報 7月号 No.658
●編集・発行人 白鳥建樹
●発行 全国酪農業協同組合連合会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番２号 酪農会館
TEL 03-5931-8003 http://www.zenrakuren.or.jp/

編集後記

●今夏も厳しい暑さになりそうです。
熱中症のリスクも対応しつつ、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、マスクを着用しなければなりません。
夏用のマスクを取り入れたり、牛は暑熱対策と快適に過ごせるようにしましょう！

●会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメールをいただければ幸いです。
shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

ZENRAKUREN

Your Partner 全酪連

全酪連の牛用混合飼料

初乳粉末製品

GOOD START

グッドスタート プレミアム

PREMIUM

内容量 250g/袋

生まれたての愛牛を守る手助けをします!

出生24時間以内にIgG量として150~200gを給与することが重要です!

※出生時体重に応じて、IgG必要量は異なります。
(例)出生時体重45kgであれば、本製品3袋給与を推奨(ホルスタイン牛)。

※IgGとは免疫グロブリンの主成分です。

使用用途

- 代用初乳として!
- 初乳サプリとして!
- 和牛子牛にも!

6つの特長!

1. 免疫グロブリン70g/袋以上!
2. サラっと溶けやすい!
3. 機能性に優れた全卵粉末を配合!
4. エネルギー源となる吸収効率の高い中鎖脂肪酸を配合!
5. 子牛1日あたりの要求量を上回るビタミン、ミネラルを配合!
6. お腹の調子を整える乳酸菌、ビフィズス菌を配合!

[包装形態] アルミパック1袋250g(10袋入り/1箱)

保存上の注意事項
- 高温多湿の場所・直射日光の当たる場所での保管は避けてください。
- 開封後長期間保存すると、品質が低下することがあります。
  開封後はなるべく早く使い切ってください。

関連製品

全卵粉末、乳酸菌、ビフィズス菌に特化した

グロウパワー も推奨

お問い合わせ先

全国酪農業協同組合連合会

札幌支所 011(241)0765	仙台支所 022(221)5381	栃木駐在員事務所 028(689)2871	近畿事務所 0794(62)5441
釧路事務所 0154(52)1232	北東北事務所 019(688)7143	名古屋支所 052(209)5611	三次事務所 0824(68)2133
帯広事務所 0155(37)6051	東京支所 03(5931)8011	大阪支所 06(6305)4196	福岡支所 092(431)8111
道北事務所 01654(2)2368	北関東事務所 027(310)7676	中四国事務所 0868(54)7469	南九州事務所 0986(62)0006